

交流大会 仲間と声を掛け合いゴール目指す
第20回あきた南北ジュニア強化サッカー交流大会

第20回あきた南北ジュニア強化サッカー交流大会（もみじカップ）が、9月30日に鷹巣陸上競技場で行われ、仙北市や大仙市などのサッカーチームが内陸線を利用して北秋田市を訪れ、県北のチームと交流を楽しみました。

今大会には、県南から3チーム、北秋田市や鹿角市、大館市など県北から6チームの計9チームが参加。試合では雨が降る中、選手たちはチームメイトと声を掛け合いながら熱戦を繰り広げると、会場に詰めかけた保護者や観客から大きな声援が送られました。



体験事業 北秋田の魅力を知ろう
秋田流教育・子育て体験ツアー

秋田流教育・子育て体験ツアーが、10月6日から8日に市内各所で行われ、東京都内から参加した3組7人の親子が、北秋田暮らしを満喫しました。

このツアーは、北秋田市の食や自然、観光、子育て環境、暮らしなどを体験し、北秋田市への移住・定住の動機付けを図ることを目的に行われています。

ツアーでは、合川小学校や合川学童研修センター、北秋田市民病院や市内商業施設を見学したほか、きりたんぼ作りやWA ROCK体験、先輩移住者との交流などを通じて北秋田の暮らしに理解を深めました。

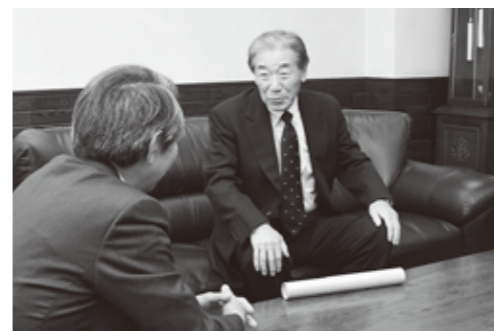


受賞報告 長年の功績が認められる
三澤仁さんが地方教育行政功労者表彰を受賞

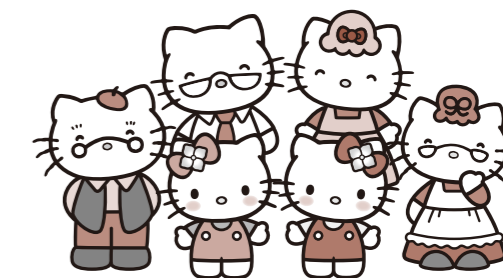
平成30年度地方教育行政功労者表彰を受賞された三澤仁さん（71歳・松葉町）が、10月22日に市役所を訪れ、津谷市長に受賞を報告しました。

三澤さんは、平成15年に旧鷹巣町教育委員会教育長に任命され、17年の北秋田市制後も北秋田市教育委員会教育長として、13年6か月にわたり教育行政全般の振興・発展に尽力されました。

三澤さんは「受賞はこれまで支えてくれた方々のおかげ」と話し、津谷市長は「功績が認められたことは北秋田市の誇りである」と受賞をたたえました。



市内のいろいろな出来事をご紹介します



総会 ふるさとの仲間と再会を喜び合う
第32回森吉会総会

第32回森吉会総会（松岡啓司会長）が、9月16日に東京都千代田区のアルカディア市ヶ谷で行われ、会員や来賓など約120人が参加し、ふるさと森吉を懐かしむ話などで盛り上がりしました。

総会では松岡会長が「ふるさと森吉町を思い出し、仲間と過ごす時間を楽しんでほしい」などとあいさつしました。続いて、津谷市長が北秋田市や森吉地域の近況報告とお祝いのことばを贈りました。

この後の交流会では、多彩な催しで会場は盛り上がり、参加者はふるさと話に花を咲かせていました。



図録寄贈 多くの市民にクマゲラを知ってほしい
NPO法人本州産クマゲラ研究会が図録10冊寄贈

NPO法人本州産クマゲラ研究会（藤井忠志理事長）が、9月25日に市役所を訪れ、クマゲラの生態を認識してもらうことを目的に同研究会が出版した図録「クマゲラ」10冊を北秋田市へ寄贈しました。

金沢聡副理事長が「図録を見て皆さんにクマゲラを知ってもらいたい」などと話し、津谷市長は「クマゲラについて理解し、環境を守るためにできることは協力していきたい」などと述べました。

図録は、市内中学校5冊、図書館4冊、市役所に1冊配置されます。



総会 ふるさとの話題で親睦深める
第31回東京鷹巣会総会・懇親会

第31回東京鷹巣会（熊谷幾麿会長）総会および懇親会が、10月14日に東京都千代田区のホテルグランドパレスで行われ、会員や来賓など約170人が出席し、ふるさとの話題で親睦を深めました。

鏡割りで始まった懇親会では「きりたんぼ鍋」などの郷土料理に舌鼓を打ちながら、旧友や知人の懐かしい話や、ふるさと談議に花を咲かせました。

また、北秋田市ゆかりの人たちによる民謡や参加者全員による鷹巣盆踊りを行うなど、参加者は楽しい時間を過ごしながら交流を深めました。



叙勲伝達 生前の功績がたたえられる
故・神成長氏叙勲伝達式

元森吉町議会議員で7月に逝去された神成長氏（満84歳・浦田）が、このほど叙勲の旭日単光章を受章し、10月19日に市役所で伝達式が行われました。

神成氏は、昭和40年から4期16年にわたり、森吉町議会議員を務められ、この間議会運営委員長、文教社会常任委員長などの要職を歴任し、適正かつ円滑な議会運営及び地方自治の発展に尽力されました。

伝達式には、長女の栄理子さんが出席し、津谷市長の同席のもと、北秋田地域振興局の渡辺雅人局長から旭日単光章の勲記と勲章の伝達を受けました。

